

見本

(令和五年度) 国語解答用紙

カタカナで記入すること

氏名

受験番号

必ず2か所に受験番号を記入すること

氏名

問一	① ①	あらがった	②	③	④	⑤	まゆ
問二	① a	柳田國男の「山人」論・「トー・ナイ論」を読み解くために、旧石器時代から現在まで文化・祭祀・芸能が連続と生き続けている地域として諏訪が適していたから。	② a	③ c	④ b	⑤ b	
問三							
問四							
問五							
問六							

日本列島に固有の文化・信仰・芸能が、時代を超えて連続して維持されてきたことを明らかにできるであろうということ

柳田國男は、狩猟採集生活を基盤とする遊動的な人々「山人」の存在を信じ、やがて定住生活を基盤とする「常民」に替わってゆくと考えたが、正確には「山人」と「常民」の文化が習合し、現在まで連続して存在することを示唆する知見であった。

採点欄

採点欄

問一	①	【出題の意図】 「落ちよった」の意味について、ウチナーヤマトウグチと西日本
問二	②	【出題の意図】 この文章における文法形式を説明する際に重要な用語の意味を把握できているかを問う。
問三		先に見たウ
問四		【出題の意図】 具体的な言語現象を通して、筆者が本文中で言いたいこと・まとめをくみ取れるかを問う。

採点欄

採点欄

問一	A	もうまったく人生の終わりと見える時になって、少し持ち直して
問二	B	極楽の迎えがおいでになるだろうと待っていると
問三	C	手をすりあわせてうれしく思いながら亡くなった
問四	誦経にせよ	極楽から迎えがくること。
問三	(1)	根拠 念仏をひたすら一心に唱えて死ぬため。
問三	(2)	実際 地獄の迎えである火の車がやってきたこと。
問四	理由	寺の財産(米)をある年五斗借りてまだ返していなかったため。

採点欄

採点欄